

キヤノンソフトが、B2C市場に最適な「Web Aviator」最新版を提供開始 柔軟な認証形式への対応やスマートデバイス向け表示機能を強化

キヤノンMJ ITグループのキヤノンソフトウェア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：加藤 高裕、以下キヤノンソフト）は、アマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）上で稼働するクラウドアプリケーション開発基盤「Web Aviator（ウェブアビエーター）v1.2.0」を4月5日より提供開始します。

「Web Aviator」はWebアプリケーションの開発ツールと実行エンジンをAWSの仮想環境に搭載したクラウドアプリケーション開発基盤です。AWSの仮想サーバーを利用することにより従来の環境構築の手間、コスト、時間といった問題を一気に解決できます。PCでもスマートデバイスでも稼働できるマルチブラウザ対応のWebアプリケーションを、WebブラウザでGUIツールにより画面やロジックを定義するだけで開発でき、すぐに本番配備ができます。

「Web Aviator v1.2.0」では、ターゲット層を従来のエンタープライズ市場からさらにB2C市場にまで広げ、クラウドを使った社内外や取引先、お客さまとのコラボレーションが実現可能になりました。具体的には柔軟な認証形式への対応として「認証不要な公開サイト構築」「認証機能の強化」、また、スマートデバイス向け表示機能の強化として「デバイス自動判別表示」「表示時の描画サイズ自動調整」が追加となりました。その他、「動画表示」、「帳票サーバーとの連携」などの機能を追加しました。

キヤノンソフトは、「Web Aviator」を大手・中堅のSIベンダーを中心に拡販し、2015年までに売上10億円（導入に関連するシステム開発も含む）を目指します。

なお、5月8日～10日東京ビッグサイトにて開催される「クラウドコンピューティング EXPO 春」（リード エグジビション ジャパン 株式会社主催）に「Web Aviator v1.2.0」を出展します。

| 名称 | 価格（税別） | 備考 |
|---|-----------------|---|
| Web Aviator S ライセンス | 無償 /3ヶ月 | 開発ライセンス（検証3ユーザー含む） |
| Web Aviator F ライセンス 【ユーザー数】 | 18万円（10ユーザー）/年～ | 実行ライセンス（検証・本番）ユーザー数 実行環境にアクセスできる利用者数で課金します。 |
| Web Aviator F ライセンス 【I/F（インターフェース）数】 | 54万円（20 I/F）/年～ | 実行ライセンス（検証・本番）I/F数 実行環境にデプロイ（配備）できるフォーム、サブフォーム、サービス（I/F；インターフェース）の合計数で課金します。 |

<主な機能強化>

1. 柔軟な認証形式への対応

「認証不要な公開サイト構築」

認証なしのアプリケーションにも対応しました。公開アンケートサイトやキャンペーンサイトなど、不特定多数ユーザー向けのアプリケーションを作成できるようになりました。

「認証機能の強化」

SAML 認証に対応することで SSO (シングルサインオン) や Active Directory との連携を実現したほか、「認証に失敗したユーザーをロックする」「アプリケーションの利用時間を制限する」など独自のロジックを記述でき、アプリケーションレベルでのセキュリティを確保できるようになりました。

The screenshot shows a survey form with the following sections:

- 1. 本日のセミナーについてお尋ねします**
 - 1. 全体としてご満足いただけましたか?
 大変満足 満足 普通 不満 大変不満
 - 2. 講演内容はいかがでしたか?
【講演者】 大変良かった 良かった 普通 できない 大変できない
【内容】 大変楽しい 楽しい 普通 真しい 大変真しい
【講演時間】 大変長い 長い ちょうどよい 短い 大変短い
 - 3. 講師・サポートスタッフの対応はいかがでしたか?
 大変よい よい 普通 悪い 大変悪い
- 2. 貴社・貴職についてお尋ねします**
 - 1. 貴社の業種をお聞かせください
 金融 製造 流通 建設 不動産 運輸 公務
 サービス 教育・研究 医療・介護 出版・マスコミ 通信 シフト/ロジス・情報処理 販・コンサル
 - 2. 貴社の従業員数をお聞かせください
 100人未満 100人～499人 500人～999人 1,000人以上
 - 3. 貴社のシステム環境についてお聞かせください (複数回答可)
 データベース MySQL DB2 SQL Server PostgreSQL Oracle その他

*公開アンケートサイト画面イメージ

2. スマートデバイス向け表示機能強化

「スマートデバイス自動判別表示」

PC 用・タブレット用・スマートフォン用の 3 種類のフォームを定義し、実行時にはアクセスしたデバイスに応じて自動的に最適なフォームの表示ができるようになりました。



*スマートデバイス自動判別表示

「表示時のサイズ自動調整」

モバイルデバイスの画面サイズの差異を

吸収し、ストレスなくジャストフィットさせて利用するために、フォームを画面の幅に合わせて自動的に拡大・縮小して表示することが可能になりました。

「画面レイアウト強化」

項目を複数配置したセルをグリッド上に表示するセルグリッドウィジェットが追加されました。フリックやタップといった従来の機能に加え、縦横に並んだ画像の一覧に対して、上下左右にスワイプ操作を行うことでページ単位にスクロール可能になります。

3. その他の機能強化

「動画表示」

動画をインライン表示できるようになりました。自動再生 (autoplay) やループ再生、コントロールバーの表示/非表示など柔軟な設定を実現しました。

「帳票サーバー等との連携」

オープンソースの帳票作成ツールの JasperReports 等、帳票サーバーと連携ができるようになりました。



*動画をインラインに表示可能